

インフラストラクチャ

英国と日本：第三国市場における
パートナー

英国からのインフラ事業における協業のご提案





英国と日本：第三国市場におけるパートナー

英国は革新的な資金調達と実施、世界トップレベルのサプライチェーンを基盤とし、日英間のインフラ分野での協調を推進したいと考えています。

- **英国屈指のインフラ事業者**のグループが、アフリカ・東南アジアのインフラギャップを解消し、鉄道・エネルギー・水・空港分野で世界をけん引するイノベーションを実現するのに不可欠な事業で日本と協力できる態勢にあります。
- これらの事業者は**プロジェクトのライフサイクル全体**に対応し、アフリカおよびアジアで現在も事業を手がけています。また、これらの事業者の多くは、日本の事業者と既に緊密に連携しています。
- このプレゼンテーションパックでは、**資金調達、設計と実施、運営とサプライチェーン**に関する支援策など、英国から日本への新しい提案の重要な要素について紹介します。

英国は以下を提供します。

- 日本企業の強みを補完する**多様な英国企業**
- アフリカ・東南アジアの**対象市場における強力なプレゼンス**
- 国際金融を動員する能力と**英国輸出信用保証局（UK Export Finance : UKEF）による魅力的な資金融資条件**
- 日本の官民、現地のパートナー、第三国の顧客とのパートナーシップに基づく**国際協力の実績**

パートナーとして英国をお勧めする理由

英国には世界屈指の**空港**があります。ヒースロー空港ターミナル2は、現在、世界で最も優れたターミナルに選ばれています（ターミナル5は第4位）。ヒースロー空港は二滑走路空港として、ガトウィック空港は単一滑走路空港として、世界で最も滑走路使用率の高い空港です。空港分野の英国企業は、世界トップレベルの革新的かつ持続可能な空港ソリューションおよび旅客体験を提供する専門技能で名を馳せています。それが、世界トップ60の国際空港を含め、100か国以上で英国企業が事業を行っている理由です。

英国の**建設**業界は、都市計画・開発・都市再生の実績で世界的に認められており、プロジェクト管理およびBIM（Building Information Modelling）技術において他の追随を許さない専門技能を生かし、低炭素で持続可能な建物の建設を支援しています。

英国の**海事**能力は世界の他の国々で活用されています。英国は、先端のテクノロジー、製造、エンジニアリング、船舶管理技術、港湾、および世界的に高く評価されている保険・金融・法律・船舶ブローカー会社の存在によって、あらゆる海事能力を提供するオールラウンダーとなっています。

英国の**鉄道**セクターは、人口密度の高い都市部での大規模な交通インフラプロジェクトを、住民への影響を最小限に抑えながら実施できることで知られています。クロスレールは英国の鉄道産業の能力を示す格好の例です。そのため、平均して週に1団体以上の海外交通当局が視察に訪れています。また、ヨーロッパの10大鉄道の中で最も安全性が高いのが英国の鉄道網です。

水セクターでは、統合資源管理のソリューションや手法を長年にわたり開発してきた経験を活かしています。また英国は、新しい水源の発見と最適な管理のための先端テクノロジーを開発することで、水不足問題の解決策の実現にも貢献しています。英国は下水の資源化でも有名です。



英国からのご提案の概要



戦略的 アドバイス

- 投資可能・実施可能・合法・持続可能なプロジェクトを策定
- 実行可能なプロジェクトのポートフォリオの開発、優先順位付け
- 複雑な実施パートナーシップのリスクを管理



融資

- 魅力的な融資および融資構造を用意
- インフラ開発への長期の資金提供、企業金融サービスと債務についてのアドバイス
- 世界的な金融の中心地としてのLondonの役割を活用



設計と実施

- 世界最先端の設計 - 革新的・持続可能・統合型
- マスタープランの策定
- 国際的な専門技能により、現地パートナーのプロジェクト実施を補完
- プロジェクト管理 - 期日・予算内での実施の実績
- 最先端の設備と供給



運営

- 資産管理
- デジタル





戦略的アドバイス



Arup - Clifford Chance - Control Risks - ERM - Eversheds - Herbert Smith Freehills - HSBC - KPMG - Mott MacDonald - Norton Rose - Oliver Wyman - Pinsent Masons - Perkins + Will - PWC - Standard Chartered

英国には世界トップレベルの金融・専門・ビジネスサービスのプロバイダーが多数存在します。英国のリーダーシップと専門技能に対する国際的な評価はどの国にも引けをとらず、世界標準であると認められています。コスト超過、遅延、調達の失敗、あるいは民間融資を利用できないといったことが珍しくない大規模なインフラプロジェクトでは、プロジェクト開始時に適切なガバナンスと専門のアドバイザーサービスを提供することが極めて重要です。英国企業は、財務予測、輸送の接続、環境保全などを支援します。また、需要、キャパシティ、接続時間、旅客流動、規制、投資の間の複雑な関係を取りまとめる専門的な知見・技能を提供します。

- **法務**：主要なプロジェクトおよび資産について、合意および計画プロセスから、建設、資金調達、運営、保守、最終的には再資金調達または売却にいたるまでアドバイスを提供。M&Aや訴訟、商業協定など、規制、安全、セキュリティ、競争、商取引、法律関連の問題に対応。
- **計画立案**：マスタープラン、環境の持続可能性、コンセッションの計画と競争、エンジニアリングおよび需要モデリング。
- **調達**：調達モデル、請負契約モデル、プロジェクト管理実施モデルの作成。契約発注後のパートナーシップ管理の支援。リスクの評価、割り当て、管理。

Herbert Smith Freehills：オランダのIjmuiden Sea Lock PPPプロジェクト（欧州PPP市場の一大事業）のVolkerWessels、BAM、PGGM、DIFによる共同事業体（コンソーシアム）に対する融資について事業者向け融資企業と欧州投資銀行にアドバイス。

Arup：関西国際空港・大阪国際空港（Osaka）に商取引に関するアドバイスを提供。この大阪の2空港のベンダーデューデリジェンスを実施し、その結果を提示することで、既存資産のパフォーマンスから利益を得る機会について、世界の投資家への周知を支援しました。

Savills Development Advisory：大規模な多用途の統合開発およびマスタープランコミュニティについて、アドバイザー・市場調査サービスを提供。日本のお客様には、JREI、Sumitomo Corporation、Mitsui and Mitsubishiが含まれます。

Marsh JLT Specialty：30年以上にわたり建設業に従事し、アドバイス、コンサルティング、分析、斡旋、サービス、請求に対する弁護を提供します。フィリピンのShimizu Corporation、インドネシアのMitsubishi、ベトナムのSumitomoなどの日系企業との協業で豊富な経験を有しています。



戦略的アドバイス： イスタンブール空港

**Grimshaw、Arup、Haptic、Scott Brownrigg、
Mott MacDonald**

開港時に年間旅客数約8千～9千万人に対応する空港として提案
約85億ユーロの初期投資により、次のフェーズで年間の利用旅客者数
を1億5千万人規模に拡大
Limak Holdingが中心となったコンソーシアムが約221億5千万ユー
ロで落札
設計／建設／運営／移転の一括事業請負後譲渡方式でプロジェクトを
実施

英国企業は、以下に示すこの新空港の計画および設計の全フェーズで
重要な役割を果たしています。

- マスタープランの策定と関連するエンジニアリング調査
- 環境影響評価
- すべてのインフラ構造物の予備エンジニアリング設計
- 法的支援
- 建築設計
- 設備供給（ターミナルおよびエアサイド）



融資



Aon – Green Investment Group – HSBC – Investec – JLT – Lion’s Head – Lloyd’s of London – London Stock Exchange – PIDG – Prudential – Standard Chartered Bank – Standard Life Aberdeen – UK Export Finance – Willis Towers Watson

英国の国際的な金融および専門サービスのコミュニティは、一帯一路計画のホスト国および経済回廊の政府、機関、投資家、その他のステークホルダーにとって信頼できる支援パートナーの役割を果たします。

- **金融**：インフラ開発への長期資金提供、企業金融サービスと債務についてのアドバイスなど、魅力的な融資および融資構造を用意。プロジェクトの構造設計および資金調達、第三者機関施設、リスクコントロールと財務管理、人民元建て商品、債券（インフラ債、グリーン債、パンダ債、点心債など）。
- **保険**：ロイズ保険市場などでの保険および再保険サービス。
- **PPP**：PPP/PFIの官民セクターへの商取引に関するアドバイス。取引の構造化と民間セクターへの融資の手配。ファイナンスクローズに至るまでの交渉。プロジェクトパートナーの編成およびコンソーシアムの形成。
- **税務/会計**：対象国固有の法的・政治的・商的環境内での創造的かつ革新的なソリューションの開発。調達の税務および会計面の管理。
- **調達**：調達モデル、請負契約モデル、プロジェクト管理実施モデルの作成。契約発注後のパートナーシップ管理の支援。リスクの評価、割り当て、管理。

John Laing：国際的なインフラプロジェクトの原資産所有者・アクティブインベスター・管理者。英国、ヨーロッパ、アジア太平洋、北米を含む広範な国際市場における、政府の官民連携（PPP）プログラムの支援を受けた主要交通・社会インフラ・環境インフラプロジェクトおよび再生エネルギープロジェクトを専門に事業を展開しています。

Mott MacDonald：ハノイ都市鉄道 - ベトナム計画投資省は、JICAによる調査のデューデリジェンスレビューを実施し、必要な投資について独立評価およびベンチマーキングを行うようMott MacDonaldに依頼しました。



UK Export
Finance

UKEFについて

150億
ポンド

6つの英日
協力市場
を対象

40億
ポンド

日本を対象

世界初のECA（輸出信用機関） - 1919年に英国輸出信用保証
庁として設立。

UKEFは、英国の商品やサービスの調達を希望する買い手を支
援します。輸出業者は現金契約と同じように前払いで支払い
を受け、買い手は魅力的な利率で、返済期間を長く取ること
ができます。

エジプトの中・長期事業の場合、現地通貨による融資が可能
です。

2017 / 18

Making exports happen



We provided **£2.5 billion** of support for UK exports, helping **191** companies sell to **75** markets around the world



We lent **£666 million** directly to overseas buyers to help them buy from the UK – **more than double** the amount for 2016-17



Through just one UKEF supplier fair we are securing at least **\$250 million** of UK exports in support of the construction of two power plants in Iraq, led by Enka UK and General Electric

Innovating and improving



We confirmed increases in – and in many cases, a doubling of – our capacity to support exports to over **100** markets



We added **22** new currencies to our local currency financing offer, taking the total to a world-leading **62**



We were awarded '**best export credit agency 2017**' by Global Trade Review and Euromoney's Trade Finance

Supporting smaller businesses



UKEF has supported **£4.1 billion** in export contracts through its trade finance products since 2011, which were introduced to help smaller businesses export – last year **77%** of all companies we supported were small to medium-sized businesses



In October 2017, we launched our **new bank partnership**, allowing smaller companies to access UKEF finance from their high-street bank



We expanded eligibility for short-term trade finance to include UK suppliers to exporters, enabling supply chains to **benefit from UKEF support** even if they're not directly exporting



UKEFの事例

UKEF + NEXI : Rolls Royce製エンジンを搭載した Boeing 787-8のAvianca South Americaへの輸出に対してUKEFが供与する輸出信用に関して、NEXIが再保険を引き受けました。この再保険の引き受けは、2017年にNEXIとUKEF間で締結された再保険協定1に基づきます。

ベトナムNghi Son製油所 : NEXIがMizuho、Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ、SMBC、Sumitomo Mitsui Trust Bank、地銀3行からのプロジェクト融資13億ドルに対して保険を付保しました。JBICが16億5千万ドルを提供。総融資額は50億ドルとなりました。UKEFがSMBCに2億1500万ドルの輸出融資を提供。

NairobiとMombasa間の有料高速道路 (全長473km) の建設 : Bechtelとケニヤ政府が、19箇所のインターチェンジを備えた4車線の高速道路の建設を実施することに合意。Konza科学技術都市など大規模な戦略的インフラプロジェクトを複数連携させ、2019年夏から建設を開始しました。

UKEFは英国内で**説明会 (Share Fair)** も開催。トップレベルの英国サプライチェーンへのアクセスを顧客に提供しています。



設計と実施



Aedas - Airport Design Consult - Arup - Benoy - BDP - BuroHappold - Chapman Taylor - Fosters - Grimshaw - Haptic Architects - Mott MacDonald - Perkins + Will - Turner & Townsend

- 現在の建設およびエンジニアリングプロジェクトの持つ複雑さによって、建設のあり方が抜本的に変わりつつあります。グローバル化されたチームには、効率を高め、環境への影響を抑えながら、巨大な規模のインフラを実現する任務が課されています。成功とは、より持続可能かつ協働的で、テクノロジーに精通していることを意味します。英国の設計・計画分野の専門的建設サービスは、それらの課題に応える世界トップレベルのサービスです。
- 英国のコンセプトによって、世界で最も注目される象徴的ないくつかのプロジェクトが実現しています。クリエイティブなビジョンと構造に関する強力な知識の融合が、それらのプロジェクトの成功をもたらしています。
- グリーンフィールド開発・拡張のコンセプト設計から新しい交通ハブの作成、世界から人が訪れる主要娯楽施設の建設まで、あらゆるインフラ事業にわたり、英国ほど充実した設計およびコンサルティングの専門技能を誇る国は世界で他にありません。

Pell Frischmann : イラクにおける水インフラの再整備。 Pell Frischmanは、JICAが資金提供したイラクの7億ドルの水インフラ復興プロジェクトを設計しました。入札はイラク公共事業省（Ministry of Municipalities and Public Works）によって実施されました。

Aedas : Lebak Bulus車両基地、Lebak Bulus駅、Fatmawati駅、Cipete Raya駅、Jakarta Bandung HSRタウンシップなど、Tokyu-Wikaによるインドネシアでの一連の交通インフラプロジェクトにおいて設計サービスを提供しました。

Arup : 日本で30年にわたり事業を行っています。Tokyoに現地事務所を構え、アジア・アフリカにおいて広範なプレゼンスを有しています。Arupは日本で登記されている数少ない外資系独立エンジニアリングコンサルティング会社の1つです。日本のパートナーとの協業には、HitachiとのHo Chi Minh Cityメトロ1号線プロジェクト、Obayashi - NishimatsuとのBangkok MRT Initial Lineプロジェクト、ミャンマーにおけるMitsubishiとのランドマーク開発プロジェクトなどがあります。

Benoy : 建築、マスタープラン、内装を専門とする設計者で構成されるグローバル企業で、「クリエイティブな営利性」を用いて問題を解決し、可能性を引き出します。Benoyは、Nikken Sekkei、Takenaka Corporation、Kajima Corporation、Obayashi Corporationなど日本有数の建設会社と協業しています。

Foster + Partners : 革新的、最新、持続可能なアプローチを提唱する、受賞実績のある英国の建築設計・エンジニアリング会社です。日本のお客様との協業には、KyotoのApple Store、Obunsha Corporationの本社のほか、Nissanとの「モビリティの未来」の協業があります。

設計サービス： 港湾

Beckett Rankine
HR Wallingford
URS Infrastructure & Environment UK

URS Infrastructure & Environment UK **Colombo Port Expansion, Sri Lanka**

www.scottwilson.com

After helping to improve the existing port efficiency, URS is supervising the delivery of a nine berth expansion to cater for the Indian subcontinent trade growth.

The capacity of the existing Port of Colombo was increased by some 50% through a series of improvements. Plans were then developed and are now under construction for a nine berth expansion enclosed by 5km of new breakwater.

The expansion will reinforce Colombo's position as a dominant player in the South Asia container trade, with consequential economic benefits.

HR Wallingford

Mubarak Al-Kabeer Port, Kuwait

www.hrwallingford.com

The Mubarak Al-Kabeer Port project (Boubyan Island, Kuwait) brought together many of HR Wallingford's core activities for port studies: navigation, ship motion, siltation and dredging. HR Wallingford worked on the detailed design studies for phases one and two of the port and the confirmation of the design concept of subsequent phases, supporting the main contractors Hyundai and their design and environmental consultants.

The company provided a programme of modelling and assessment services for the port design and environmental impact assessment looking into siltation, dredging and metocean studies as well as specific, key issues for the operation of the port, such as vessel movement at berth, wave overtopping of the quay and flushing of the small vessel harbour. The mix of studies linking numerical and physical modelling was the strength of HR Wallingford's approach.

HR Wallingford also provided an innovative solution to the training of port staff by setting up a real time navigation simulation facility to represent phase one of the development.

HR Wallingford first became involved in the Mubarak Al-Kabeer port project in 2006, supporting the development of the port master plan.

HR Wallingford. Mubarak Al-Kabeer Port



Beckett Rankine

Isle of Grain, Kent

www.becketrankine.com

To help secure a constant and diverse source of gas supply to the UK, a new LNG import terminal with an overall investment of £1 billion was developed by National Grid in the south east of the UK on the Isle of Grain.

Beckett Rankine was heavily involved on this project for several years through the various stages of development from a brownfield site into two fully operational berths and then planning facilities for re-loading LNG to smaller vessels for bunkering.

The LNG terminal is the largest in Europe and has the capacity to receive and process up to 15 million tonnes of LNG a year equivalent to 20% of UK gas demand. Capable of unloading the biggest LNG carriers in the world the Qmax vessel, the terminal is now capable of storing 1 million cubic metres of gas with four new full containment LNG tanks.





設計と実施



Bam Nuttall UK – Balfour Beatty – Bechtel –
GE Healthcare (UK) - Howden - Mace Group –
Jacobs - Lagan Construction - Petrofac - Rolls
Royce - Siemens (UK) - Turner & Townsend

建設事業関連の英国からの提案で鍵になるのは、現地企業とのパートナーシップの結び方です。現地企業がプロジェクトを実施するにあたり、不足している専門技能を英国の国際協力パートナーが提供できる分野が提案の対象になります。

これには以下が含まれます。

- プログラム管理
- コスト管理
- ロジスティクス管理
- 下請け業者の実施管理
- 技能移転・トレーニング
- 安全衛生
- 積算
- 品質管理
- 国際的なサプライチェーンの導入

BMT : 工業・商業・政策立案者・規制当局・公共部門のオペレーターに、エンジニアリングおよび科学技術に関するサービスを提供します。交通・防衛・環境・海運・港湾・物流の分野で事業を展開しています。BTMは、Mitsui、Penta-Ocean、Chiyoda Corporationと協力し、石油・ガスプロジェクトを成功させています。BMTは、現在、Mitsubishi Research Instituteと協力してTokyo Metroなどの鉄道事業者の支援や、Ho Chi Minh City鉄道プロジェクトにおけるHitachiの支援、ShinryoのHong Kong MTRへのシステム提供の支援を行っています。

Crossrail Ltd : 10か所の新駅を建設し、London全域を結ぶ150億ポンドの新規鉄道路線の計画、設計、実施を請け負っています。これはヨーロッパ最大の建設プロジェクトとなります。

Mace : 国際的に展開しているコンサルティングおよび建設企業です。ベトナム国内で最も高層であるLandmark 8 1 ビルの建設にも携わっており、商業施設や工場といった民間施設からモノレール等の基幹インフラまで幅広い業務を展開しています。

Mott MacDonald : エンジニアリング、管理、開発に関する国際的なコンサルティング会社です。日本では、総計約5GWの太陽光・風力・地熱発電プロジェクト、2か所の空港プロジェクト、7か所の有料道路プロジェクトに携わってきました。海外では、Mitsui、Sharp、Mitsubishiなどの日本のお客様と協力して、プロジェクトの計画、資金調達、設計、実施、維持管理を行っています。

Turner & Townsend : Turner & Townsendは、これまで3件の世界的に重要な鉄道トンネルプロジェクトを支援してきました。具体的には、費用見積・調達・コスト管理システムに関する専門的な知見をLondon Crossrail、Doha Metro（中東最大の都市地下鉄システムの1つになる予定）、SydneyのNorth West Rail Link（83億ドル規模）に提供しています。



BEISとDITは、英国デジタル建設センター（Centre for Digital Built Britain : CDBB）と連携して、世界中の政府と共にBIMの活用を推進しています。これまで、以下の国・地域・組織と協力協定や覚書（*）を締結しています。

南北アメリカ

米国
コロンビア*
チリ*
ブラジル*
メキシコ
ウルグアイ
ペルー
米州開発銀行

アジア

ベトナム*、2018年7月締結
インドネシア*
日本*
香港

ヨーロッパ：EU BIMタスクグループを通じて協働（約20か国）

設計と実施： BIM（Building Information Modelling）

デジタル建設

BIMは、プロジェクトのライフサイクル全体を通して、建設プロジェクトの情報を作成・管理するプロセスです。これには、建設する資産のあらゆる側面をデジタルで記述した「ビルディングインフォメーションモデル」が含まれます。このモデルは、共同作業を通じて収集された情報を基に構築されます。情報はプロジェクトの主要な各段階で更新されます。デジタルBIMを作成すると、対象の建築物の関係者が各自の作業を最適化でき、結果的に資産の生涯価値が底上げされます。その他にも以下のメリットが得られます。

- 手戻り、エラー、抜け、建設段階での衝突や変更の削減
- クラッシュ検出
- 生産性の改善による時間と資金の節約

英国の建設業界では、BIMを通じて業界独自のデジタル改革が進行しています。BIMは働き方の1つです。BIMはチーム作業環境で情報モデリングと情報管理を行うことであり、チームメンバー全員が同じ基準に従って作業をします。BIMによって人・プロセス・技術を連携することで価値が生まれます²。



運営



BP – Manchester Airports Group - NATS – Port-Evo –
Portia - Safesky – Scarecrow - Serco

空港：英国の主要空港には、ターミナルビル内および滑走路上の膨大な交通量を処理できる運営能力があります。厳しい安全およびセキュリティ基準に従いつつ、極めて効率的にこの処理を行っています。英国では、運営効率を高めるため、空港のマスタープランに即して機能する統合システムも開発しています。英国は、世界の主要空港の一部に高度な手荷物処理システムを提供しています。英国の堅牢なITシステムは、通常の日常業務から包括的なインシデント管理まで処理できます。

港湾：英国企業には、民間セクターの港湾の運営および管理について膨大な知見が蓄積されています。現在、そのスキルが海外に展開され、他国の民間セクターの港湾管理に活かされています。

鉄道：鉄道インフラの資産管理に関する英国の専門技能は世界トップレベルであり、英国内の規格PAS 55（現在のISO 55000）は、現在の資産管理システムの基準になっています。世界中の鉄道運営者が英国のノウハウを利用することで、効率を大幅に改善し、貴重な資産を最大限に有効活用しています。英国の鉄道業界では、インフラ・車両・各 부품の状況や状態を正確に評価するために、最先端のテクノロジーとツールを開発・使用しています。

Manchester Airports Group：日本の大手不動産開発業者であるTokyo Tatemonoをパートナーとして、九州の福岡空港の空港全体の運営コンセッションに入札。

NATS：ムンバイ空港のキャパシティ拡大：NATSは、同空港の容量の実地評価とデータに基づく評価を組み合わせ実施し、高度なシミュレーション手法を用いて、性能向上のための推奨事項のメリットを定量化しました。

PORTIA：カタール新港湾プロジェクト港湾運営コンサルタントに選任され、最終的に世界トップレベルの運営が実現するように、港湾の運営開発の重要な領域で新港湾プロジェクトチームを支援しました。PORTIAのチームは、新港湾プロジェクトの各ターミナルの運営と保守、ターミナルシステムの統合、荷役機器、運営ビルの仕様、税関施設戦略について、アドバイス、提言、戦略を提供しました。

Hitachiの英国内サプライチェーン

Hitachi Newton Aycliffe

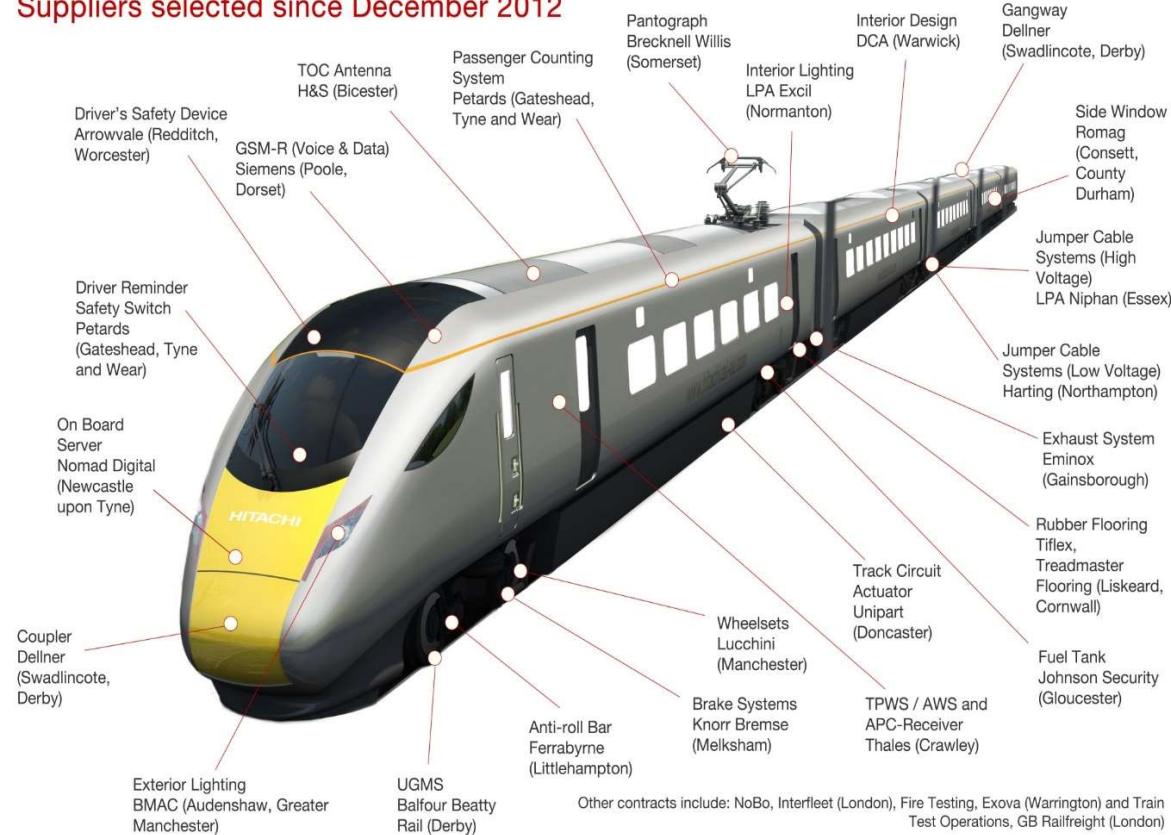
Hitachiは、2015年に英国のNewton Aycliffeに工場を開設しました。それ以来、このHitachiの事例は、英日共同で世界有数のインフラデリバリーを実現した代表例となっています。

この図は、英国都市間高速鉄道（IEP）の高速車両Class 800のサプライチェーンを示しています。部品（システムではなく）の71%は北東部から供給されています。Hitachiでは1社のサプライヤーに依存することを敬遠しているため、北東部のさらに多くのサプライヤーがチェーンに参加する余地があります。Dyer、Hydrum、Romag、Invertecなどの企業は、Hitachiとの契約から大きな利益を上げています。

Hitachiは、サプライチェーンの現地化を継続的に推進しています。鉄道部品だけでなく、ケータリング等のサービスプロバイダーとしても、北東部の企業の積極的な採用が進められています。

HitachiはNewton Aycliffeにある**University Technical College South Durham**に資金援助しています。University of Sunderland、Hitachi Rail Europe、Gestamp Tallentが共同で同校を設立し（2016年開校）、14～19歳の学生に幅広い職種を対象とした職業訓練を提供しています。

Suppliers selected since December 2012



運営 : Saudi Railway Company

Serco、Freightliner Group、Network Rail Consulting

SARはサウジアラビア財務省の投資部門により2006年に設立された国有企業です。英国の3社がコンソーシアムを編成し、協力してSaudi North South Railwayの開発・運營業務への入札を行い、このコンソーシアムがSARにより選任されました。全長2,750kmを超えるこの鉄道は、現在、世界で開発中の鉄道プロジェクトのうち最大のプロジェクトの1つです。この鉄道は旅客および一般貨物のほか、重量物の輸送サービスも提供します。

コンソーシアムは、Serco（旅客サービスの技術支援、暫定管理、トレーニングを提供）、Freightliner Group（貨物業務の技術支援、暫定管理、トレーニングを提供）、Network Rail Consulting（インフラ管理の技術支援、暫定管理、トレーニングを提供）の3社で構成され、SARによるこの重要なプロジェクトの運営を支援します。契約期間は5年間で、契約の範囲にはキャパシティ管理、ネットワーク計画、車両計画、旅客駅の運営、運行スケジュール、派遣、エンジニアリング、資産管理、インフラの保守管理が含まれています。契約の発表は2015年、コンソーシアムとの契約額は約1億2000万ポンドです。



インフラ輸出：英国（IE：UK）

IE:UKは、大小さまざまな規模の企業から成る「チームUK」コンソーシアムを編成し、各社の専門技能を統合することによって、世界のインフラ事業契約に入札し、複雑なプロジェクトを実施しています。

英国国際通商省（DIT）は、英国の大手インフラ企業22と提携し、英国企業が主要な国際事業の契約を獲得できるよう支援しています。この業界主導の団体が、政府の支援を受け、インフラプロジェクトの獲得・実施を目指します。

これには、コンソーシアムなど、英国パートナーシップモデルを形成・参加し、対象となるプロジェクトを実施することが含まれます。

DITは108の市場で、現地スタッフのネットワークを活かしてIE:UKを支援します。DITの現地スタッフは、IE:UKの案件になり得る地域の重要なプロジェクトを特定します。

IE:UKの参加企業の従業員数は、英国全体で約200,000人になり、次のような大規模プロジェクトに従事した経験を有しています。

- クロスレール
- 2020年ドバイ国際博覧会
- 2012年ロンドンオリンピック
- フランスのITER核融合炉



英国と日本の連携

英国と日本は、アフリカとアジアにおいて革新的かつ高品質のインフラを提供する戦略的パートナーシップの構築に取り組んでいます。



政府間
協定

インフラ事業において協力関係を構築していくことを両首脳が合意。2017年にJBICとDIT間で締結された覚書には、第三国での共同投資および共同事業の促進が盛り込まれています。
JETRO・DIT間の覚書



マーケット
エンゲージメント

DIT <-> 国際協力局
アフリカ（ケニア・ガーナ）+
東南アジア（フィリピン・
ベトナム・インドネシア・
タイ）に注力



プロジェクトへの
融資

NEXI-UKEF
ワンストップショップ再保険協定
により、日英の製品輸出を支援す
るための協力が可能。



プロジェクト
実行

日英の強みをいかし
インフラ事業を通じグリーンリカ
バリー、SDGsへの貢献